

(1) 水道施設・下水道施設から発生する汚泥の有効利用に関する研究

採択題名（概要）	交付申請者名	交付予定額
<p>上水汚泥の添加による下水直接膜ろ過のアップグレード （概要） 下水処理場のカーボンニュートラル化を達成するため、下水中有機物の高効率回収と N₂O 発生を同時に達成できる新しい下水処理システムを開発する。 上水汚泥の添加で高効率化された下水直接膜ろ過を前処理とし、膜コンタクターの適用により下水中アンモニアを未反応のまま回収して N₂O 発生を原理的に根絶する。</p>	<p>北海道大学大学院 工学研究院環境工学部門 教授 木村克輝</p>	<p>5,460 千円</p>

(2) 下水道に関わる効率的な水処理システムの研究

採択題名（概要）	交付申請者名	交付予定額
<p>バイオポリマー高速除去装置を活用した新規ファウリングフリーMBRの開発 （概要） 膜分離活性汚泥法（MBR）ではバイオポリマーによる膜ファウリングが問題であり、回転繊維ユニット生物接触法（mRBC）をバイオポリマー除去装置として活用することで、バイオポリマー分解酵素の活性化により膜ファウリングがほとんど発生しない MBR（ファウリングフリーMBR）の確立を目指す。</p>	<p>中央大学 理工学部 助教 角田貴之</p>	<p>7,280 千円</p>